

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
12122	社会福祉施設建設補助事業	福祉推進部	指導監査課	2
12122	社会福祉施設防災設備等整備補助事業	福祉推進部	指導監査課	3
13232	介護サービス事業者指導監督事業	福祉推進部	指導監査課	4
12211	障害者支援施設等整備補助事業	福祉推進部	指導監査課	5

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	福祉推進部	課等名	指導監査課	担当G	社会福祉法人・施設整備担当	連絡先	948-6867
部長等名	富田 定伸	課等長名	高市 直樹	リーダー	首頭 哲	担当	橋本 亜矢子

1.事業概要【Plan】

事業名	12122 社会福祉施設建設補助事業	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)	事業区分	5:補助金・負担金	
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
政策	暮らしを支える福祉を充実する		-	-	-	-
施策	高齢者福祉の充実		-	-	-	-
主な取組	住み慣れた地域で暮らせる環境づくり	根拠法令	地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律第5条第1項 松山市高齢者施設建設費等補助金交付要綱			
取組みの柱	地域での生活の基盤となる施設の整備					
目的・背景	地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律第5条第1項の規定により本市が作成する地域における医療及び介護の総合的な確保のための事業の実施に関する計画に基づき民間事業者が実施する事業に対し、補助金を交付することで施設基盤整備の促進と社会福祉法人等に対する負担軽減を図り、老人福祉の向上に資することを目的としている。					
対象・内容	社会福祉法人、医療法人等に対して、小規模特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホーム等を整備する(改修含む)費用の一部を県の財源で補助する。					

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	民生費	項	社会福祉費	目	老人福祉費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】	社会福祉法人等への補助金	令和4年度補助金に関する返還金	334,422
予算(千円)	事業費計	820,006	446,481	68,130					
	国費・県費	820,006	446,481	68,130					
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	0	0	0					
決算(千円)	事業費計	547,023	335,371			特記事項			
	国費・県費	547,018	334,422						
	市債	0	0						
	その他	5	949						
	一般財源	0	0						
	(執行率)	67%	75%						
人役	正規職員	0.3	0.3	0.3					
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.3	0.3	0.3					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)
	目指す方向性	単位						
成果指標	補助金を活用した施設数	目標	53	15	4	4	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したため、当初予定していた感染予防工事が不要となった。	
		実績	52	10				
	単年で増	施設	達成率	98.1%	66.7%			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	当初予定していた工事は、順調に進捗し、年度内に完了したため。						
課題	補助対象事業者が多くなると、工事の進捗管理が難しくなり、また、物価高騰など資材高の要因に影響され、入札不調による工事の遅れが生じることがある。			今後の方向性	現行のまま継続		左記の理由	今後も随時工事の進捗管理を把握し、工事に遅れが発生しないよう適切に助言・指導を行っていき、補助事業を実施していく。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	福祉推進部	課等名	指導監査課	担当G	社会福祉法人・施設整備担当	連絡先	948-6414	
部長等名	富田 定伸	課等長名	高市 直樹	リーダー	首頭 哲	担当	佐藤 祐子	

1.事業概要【Plan】

事業名	社会福祉施設防災設備等整備補助事業		事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)		事業区分	5:補助金・負担金	
12122								
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える福祉を充実する			-	-	-	-	
施策	高齢者福祉の充実			-	-	-	-	
主な取組	住み慣れた地域で暮らせる環境づくり		根拠法令	地域における公的介護施設等の計画的な整備等の促進に関する法律第5条第2項、地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金交付要綱				
取組みの柱	地域での生活の基盤となる施設の整備							
目的・背景	<p>(目的)災害発生時に自力で避難することが困難な方が多く利用する高齢者施設等の防災・減災対策を推進し、利用者の安全・安心を確保する。</p> <p>(背景)・平成18年1月長崎県大村市でグループホームの火災が発生【やすらぎの里さくら館:死者7名 負傷者3名、延床面積279.1㎡】→275㎡から1000㎡未満のグループホーム等へのスプリンクラー設置費用補助開始</p> <p>・平成22年3月 北海道札幌市でのグループホームの火災が発生【グループホームみらいとんでん:死者7名 負傷者2名 延床面積248.43㎡】→275㎡未満のグループホーム等へのスプリンクラー設置費用補助開始</p> <p>平成30年6月 大阪北部を震源とする地震発生 → ブロック塀改修補助開始</p> <p>平成30年 西日本豪雨等災害多発 → 非常用自家発電設備整備補助開始</p> <p>令和2年7月 熊本県を中心に、「令和2年7月豪雨」災害発生 → 水害対策強化補助開始</p>							
対象・内容	特別養護老人ホームや介護老人保健施設、認知症高齢者グループホーム等の高齢者施設等に対し、非常用自家発電設備整備、大規模修繕、給水設備整備、耐震化改修及び水害対策を強化するための改修、換気設備設置等の補助を行う。							

2. 事業実施【Do】

事業費/財源		会計	一般会計	款	民生費	項	社会福祉費	目	老人福祉費
		令和4年度	令和5年度	令和6年度					
予算 (千円)	事業費計	7,093	31,392	0		主な経費 (千円) 【R5 決算】	認知症高齢者グループホーム等防災改修支援事業(大規模修繕等分)		7,730
	国費・県費	7,093	26,063	0				認知症高齢者グループホーム等防災改修支援事業(非常用自家発電設備整備事業分)	7,601
	市債	0	0	0				高齢者施設等の給水設備整備事業	15,097
	その他	0	0	0					
	一般財源	0	5,329	0					
決算 (千円)	事業費計	7,152	30,428			主な取組内容 【R5】	認知症高齢者グループホームへの大規模修繕を1件、非常用自家発電設備整備を1件、高齢者施設等への給水設備整備を1件、計3件の施設整備に対する費用の補助を行った。		
	国費・県費	7,093	25,396						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	59	5,032						
(執行率)	101%	97%							
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記事項	現年度 補正予定		
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	補助金を活用した施設数	目標	1	3	3	3	補助を希望した施設すべてが補助金を活用し、施設整備を行うことができた。		
		実績	1	3					
	単年で増	施設	達成率	100.0%	100.0%				
		目標							
		実績							
		達成率							
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	施設整備を予定通り進め、高齢者にとって安心・安全な環境づくりに貢献できたため。							
課題	特になし。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	高齢者にとって安心・安全な環境づくりを引き続き行う必要があるため、補助事業を継続していく。		

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	福祉推進部	課等名	指導監査課	担当G	介護事業者指定・指導担当	連絡先	948-6968	
部長等名	富田 定伸	課等長名	高市 直樹	リーダー	徳永 謙哉	担当	林 洋介	中野 恵

1.事業概要【Plan】

事業名	介護サービス事業者指導監督事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
13232								
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	生涯にわたって安心な暮らしをつくる			-	-	-	-	
施策	社会保障制度の充実							
主な取組	介護保険制度の充実		根拠法令	介護保険法第22条ほか				
取組みの柱	介護サービスの質的向上							
目的・背景	介護保険法の改正等に伴い、介護サービス事業者に対する市の指定・指導権限が拡大される中、定期的に事業所に対し運営指導等を行うことにより、介護サービスの質の確保及び保険給付の適正化を図るとともに、事業所での課題や従業員のニーズに応じた研修、技術指導、情報提供などを行うことで、介護従業者等の質の向上を図ることを目的とする。							
対象・内容	対象:松山市内にある居宅・地域密着型・施設サービス事業者を対象とする。 松山市による指導監査とあわせ、平成19年度から松山市社会福祉協議会に委託し、介護サービス事業所への巡回訪問、研修会の開催、各種調査などの事業を行っている。							

2.事業実施【Do】

		会計	介護保険事業特別会計	款	総務費	項	総務管理費	目	趣旨普及費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】	松山市社会福祉協議会への委託料		
予算(千円)	事業費計	13,440	17,178	14,882				事業者管理システム利用等に係る通信運搬費	
	国費・県費	0	0	0					4,530
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	13,440	17,178	14,882					
決算(千円)	事業費計	11,138	15,832			主な取組内容【R5】	・事業所への運営指導や訪問調査 ・介護保険サービス事業者連絡会の開催 ・事業者や介護従業者を対象とした研修など		
	国費・県費	127	1,300						
	市債	0	0						
	その他	33	66						
	一般財源	10,978	14,466						
	(執行率)	83%	92%						
人役	正規職員	9.0	9.0	9.0		特記事項			
	その他	1.0	1.0	1.0					
	合計	10.0	10.0	10.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	介護サービス事業者への運営指導の件数	目標	290	310	300	310	新型コロナウイルス感染症の5類移行を踏まえ、年度当初から運営指導を開始したことで、概ね目標を達成できた。		
		実績	271	304					
	単年で増	件	達成率	93.4	98.1				
活動指標	事業者対象の研修会の回数	目標	6	6	6	6	オンラインも活用し、目標を達成することができた。		
		実績	6	6					
	現状維持	回	達成率	100	100				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	運営指導については、コロナ禍の影響で一部延期している事業所があるものの、概ねコロナ前のペースで実施できたほか、文書開催となっていた介護保険サービス事業者連絡会も対面形式で開催するなど、適切に指導や研修会を行うことができたため。							
課題	令和2年度以降、コロナ禍の影響で、運営指導を延期している事業所がある。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	令和5年度以降、延期した事業所を優先しながら、コロナ前のペースで運営指導しているため。		

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	福祉推進部	課等名	指導監査課	担当G	社会福祉法人・施設整備担当	連絡先	948-6414	
部長等名	富田 定伸	課等長名	高市 直樹	リーダー	首頭 哲	担当	佐藤 祐子	

1.事業概要【Plan】

事業名 12211	障害者支援施設等整備補助事業	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)		事業区分	5:補助金・負担金	
基本目標	健やかでやさしさのあるまち【健康・福祉】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える福祉を充実する		-	-	-	-	
施策	障がい者福祉の充実						
主な取組	障がい者支援の充実	根拠法令	社会福祉施設等施設整備費国庫補助金交付要綱、松山市社会福祉施設建設費等補助金交付要綱 障害者基本法第14条				
取組みの柱	地域生活継続のための環境整備						
目的・背景	グループホームの定員増となる整備に補助を行うことで、障がい者の地域移行を促進する。また、国の防災対策や緊急対策、その他法改正等への対応に必要な整備に対し補助を行うことで、施設利用者の安心安全を確保する。厚生労働省が定める社会福祉施設等施設整備費の国庫補助要綱に基づき、補助を開始。						
対象・内容	対象:障害者福祉施設を運営する法人 法人が運営する障害者福祉施設の創設・大規模修繕等施設整備に対して、国・市が補助率に応じて補助を行う。						

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	民生費	項	社会福祉費	目	心身障害者福祉費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度					
予算 (千円)	事業費計	26,542	0	0		主な経費(千円) 【R5決算】			
	国費・県費	17,694	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	8,848	0	0					
決算 (千円)	事業費計	25,890	0			主な取組内容 【R5】	令和5年度は予算の執行がなく、令和6年度協議のため事前準備を行った。		
	国費・県費	17,260	0						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	8,630	0						
	(執行率)	98%	0%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記事項	令和5年度は執行なし 令和6年度に採択あれば補正予定		
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)
	目指す方向性	単位						
成果指標	補助金を活用した施設数	目標	3	-	1	1	補助を希望した施設がなかったため。	
		実績	3	-				
	単年で増	施設	達成率	100%	-			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調						
	理由	令和5年度は法人からの協議希望がなく補助実績がなかったものの、令和6年度協議に向けた準備を進め、障がい者にとって安心・安全な環境づくりに貢献できたため。						
課題	松山市第7期障がい福祉計画に基づき整備を進めるとともに、災害に対応するための施設整備を進めていく必要がある。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	障がい者にとって安心・安全な環境づくりを引き続き行う必要があるため、補助事業を継続していく。	